



## 新「古河市」誕生記念式典

1月21日、広域中央運動公園総合体育館において新「古河市」誕生記念式典が挙行されました。

式典は、1,000人の参列者を迎え、市長、議長あいさつに続いて、合併功労者と市政功労者の表彰、市章の発表、そしてアトラクションとして総和中学校ストリングス・オーケストラ部が演奏を披露し、参列者全員の万歳三唱をもって閉じました。

新しい「古河市」の発展と飛躍を誓う式典でした。

### 合併功労者総務大臣表彰(敬称略)

館野 喜重郎(元三和町長、元合併協議会会長)  
小久保 忠男(元古河市長、元合併協議会副会長)  
白戸 仲久(元総和町長、元合併協議会副会長)

### 合併功労者感謝状(順不同、敬称略)

落合 道雄(元合併協議会委員)	渡邊 澄夫(元合併協議会委員)
峯 正一(元合併協議会委員)	大里 八郎(元合併協議会委員)
清宮 正人(元合併協議会委員)	柳 優(元合併協議会委員)
針谷 勇(元合併協議会委員)	斉藤 一恵(元合併協議会委員)
小林 實(元合併協議会委員)	内藤 勝義(元合併協議会委員)
今泉 優(元合併協議会委員)	山室 和男(元合併協議会委員)

## 「風格と希望に満ちた“いきいき古河”」の実現へ

新生「古河市」は魅力に満ち、大きな発展の可能性を秘めております。その理由としまして、地勢や地理的条件、交通体系に恵まれるとともに、歴史や文化が息づき、旧古河市の商業、旧総和町の工業、旧三和町の農業と、それぞれ特色のある産業基盤に立脚していることが挙げられます。さらに将来は、首都圏中央連絡自動車道へアクセスする国道354号バイパスや、県都水戸方面に向け北関東自動車道へアクセスする筑西幹線道路の整備等により、新市の発展の可能性は一層高まってまいると考えております。

ところで、合併の目的は、少子高齢化や地方分権のさらなる進展等を見据え、活力ある地域の創造に向けて、将来にわたりさまざまな行政課題に対応できるよう自治体の基盤強化を目指したものであり、それだけに合併効果をできるだけ早期に、しかも最大限に発揮して、新市建設計画に掲げる「風格と希望に満ちた“いきいき古河”」の実現と市民サービスの向上につなげていくことが求められております。

しかし、合併したとはいえ、今日の厳しい財政状況のもとで多くの課題や多種多様な市民ニーズに対処していくためには、なお一層の行財政改革など相当の努力が必要であり、合併で楽観することなく、今後は「地域の経営力」を高めていくことが最も重要であります。

そこで私は、地域の経営力、言い換えますと、自治の力を高めていくためには、市民の融和と一体感の醸成を図りつつ、執行部と議会、そして市民の三者が新市の可能性と将来像を共有したうえで英知を結集し、協働体制によりまちづくりを進めていくことが不可欠であると考えております。

先ほど申し上げましたとおり、新市は大きな発展の可能性を秘めておりますが、可能性を現実の発展に変えていくためには、今後の取り組み如何にかかっております。私は、新市が有している豊かな地域資源を活用し、市民の皆さまとともに手を携え、合併して本当に良かったと実感できるまちづくりに、全身全霊を傾け、邁進していくことをお誓い申し上げます。

—市長あいさつから—

靄見 進 (元合併協議会委員)  
 増田 悟 (元合併協議会委員)  
 山腰 進 (元合併協議会委員)  
 印出 和夫 (元合併協議会委員)  
 渡辺美智子 (元合併協議会委員)  
 小西 昌弘 (元合併協議会委員)

白石 幸雄 (元合併協議会委員)  
 岩本 清治 (元合併協議会委員)  
 大木 康造 (元合併協議会委員)  
 田中 衛八 (元合併協議会委員)  
 岩田 享子 (元合併協議会委員)

### 市政功労者表彰(敬称略)

館野 喜重郎 (元三和町長、  
 元古河市長職務執行者)



▲式辞を述べる市長



▲総務省大臣官房の荒木総括審議官から表彰を受ける館野喜重郎氏(左)



▲市章発表の瞬間



▲素晴らしい演奏を披露した総和中学校S・オーケストラ部



## 大人としての 新たな門出 成人の集い

▲古河地区の実行委員長、柿沼哲也さん(写真右上)。「古河地区成人の集いのテーマは『LOVE&PEACE』。たくさんの人に支えられて生きているという自覚を持ちましょう」とあいさつしました

1月8日と成人の日の9日、市内3カ所で「成人の集い」が行われました。会場は、8日が古河地区の公会堂と三和地区の三和健康ふれあいスポーツセンター、9日が総和地区の生涯学習センター総和(とねミドリ館)。市内1,782人の新成人のうち、1,382人が各地区の会場に出席しました。

古河地区では、式典の中で映像メッセージを上映。中学校時代の懐かしい写真と恩師からのメッセージが流れる映像で、画面が切り替わるたびに会場から歓声が上

がりました。

総和地区では、立食パーティー形式で開催。全員で乾杯した後は、久しぶりに再開した友人と歓談していました。また、中学校時代の恩師もお祝いに駆けつけ、新成人たちは恩師を囲んで思い出話に花を咲かせていました。

三和地区でも、中学校時代の恩師が新成人たちを激励。「大人としての自覚と責任を持ち、夢に向かって全力で進んでほしい」と、昔と変わらない口調で、温かい言葉を送っていました。



▲「成人の誓い」を発表する加藤歩美さん(総和地区)。「自分たちの夢や目標に向かってさらなる努力を心がけ、社会に貢献できる大人になることを決意します」と誓いました



- ①公会堂での成人の集い。実行委員による手作りの張り紙で入り口や正面を飾りました
- ②晴れ着姿でピース (古河地区)
- ③受付で昔の友人と再開。思わず、そこで長話になってしまうことも (総和地区)
- ④「はたちの抽選会」。さまざまな賞品が用意されました (古河地区)

- ⑤市から新成人に記念品が贈られました。記念品の内容は、集いの最後に撮影する集合写真。二十歳の良い記念になることでしょう (総和地区)
- ⑥恩師を囲んで。教え子の成長ぶりに驚く先生もいました (総和地区)
- ⑦⑧中学校時代の恩師が集合。会場から歓声が上がりました (三和地区)





# 第1回 古河市議会定例会

11月28日から12月19日まで、第1回古河市議会定例会が開催されました。市長から提案された案件は報告3件、諮問2件、議案53件（内追加議案19件）、認定23件。また議員から提出された案件は議案1件。全議案原案可決されました。一般質問は26人でした。主な議案等は次の通りです。

## 市長提出議案

○平成17年度古河市一般会計予算○平成17年度古河市特別会計予算（国民健康保険、老人保健、介護保険、公共下水道事業、広域中央運動公園、農業集落排水事業、ゴルフ場事業、古河駅東部土地区画整理事業）○平成17年度古河市水道事業会計予算○古河市長の給与の特例に関する条例の制定について○古河市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について○古河市福祉、保健及び医療に関する施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について○古河市医療福祉費支給に関する条例

の制定について○古河市医療費助成に関する条例の制定について○古河市予防接種健康被害調査委員会設置条例の制定について○平成17年度古河市一般会計補正予算○平成17年度古河市特別会計補正予算（国民健康保険、老人保健、介護保険、公共下水道事業、広域中央運動公園、農業集落排水事業、ゴルフ場事業、古河駅東部土地区画整理事業）○平成17年度古河市水道事業会計補正予算○平成16年度古河市一般会計歳入歳出決算認定について○平成16年度古河市特別会計歳入歳出決算認定について

(古河市立学校給食共同調理場、国民健康保険事業、老人保健事業、介護保険事業、公共下水道事業、ゴルフ場事業) ○平成16年度古河市水道事業会計決算認定について ○平成16年度総和町一般会計歳入歳出決算認定について ○平成16年度総和町特別会計歳入歳出決算認定について (国民健康保険、老人保健、公共下水道事業、広域中央運動公園、農業集落排水事業、介護保険) ○平成16年度総和町水道事業会計決算認定について ○平成16年度三和町一般会計歳入歳出決算認定について ○平成16年度三和町特別会計歳入歳出決算認定について (国民健康保険、老人保健、農業集落排水事業、公共下水道事業、介護保険) ○平成16年度三和町水道事業会計決算認定について ○古河市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて ○古河市監査委員の選任につき同意を求めることについて ○古河市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて ○古河市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて ○古河市特別参与の設置に関する条例の制定について



#### 古河市選挙管理委員会

委員 長 宇都木 誠一郎 (幸町)

委員 長代理

田中 行男 (前林)

委員 青木 利夫 (下大野)

委員 馬場 實 (東山田)

#### 古河市監査委員

代表委員 阿久津 邦男 (女沼)

委員 赤岩 茂 (諸川)

委員 山中 利彦 (東一丁目)

#### 古河市公平委員会

委員 長 染谷 泰雄 (磯部)

職務代理者

水越 行男 (尾崎)

委員 小池 利侑 (原町)

#### 古河市固定資産評価審査委員会

委員 長 岩崎 清 (中央町一丁目)

職務代理者

鈴木 昭吾 (仁連)

委員 黒川 寛藏 (葛生)

委員 岡安 政夫 (下辺見)

委員 廣田 久 (東山田)

委員 秋庭 壽 (大山)

#### 古河市特別参与

舘野 喜重郎 (諸川)

## 議員提出議案

○市長の専決処分事項の指定について

## 各委員等人事

(敬称略)

#### 古河市教育委員会

委員 長 松沼 健 (尾崎)

委員 長職務代理者

長濱 勲 (下辺見)

委員 今泉 優 (大和田)

委員 遠藤 裕子 (駒羽根)

教育 長 松原 俊二 (原町)

## 教育長選任

12月20日、古河市教育委員会が開催され、委員の互選により教育委員長に松沼健氏、教育長に松原俊二氏が選任されました。任期は平成21年12月19日までとなります。



松原 俊二 教育長

# 市章デザイン決定！



★趣旨

古河市の「古」の字を基調に豊かな自然の中でいきいきする古河市民を象徴的に表現しました。赤は太陽、緑は大地、青は清流で自然に恵まれた古河市をイメージしました。シンプルで、親しみやすく、多くの人に長く愛されるデザインです。また、縮小、単色、白黒にも耐えられ、多用途な使い方ができます。(作成者原文引用)

★作成者

工藤 和久さん(青森県 弘前市)  
※作成者の趣旨を損なわない範囲で色・デザインの補正をしました。

★決定までの経過

古河市、総和町、三和町が、平成17年9月12日に合併し、誕生した新「古河市」の市章を制定するにあたり、新市の将来像である「風格と希望に満ちた“いきいき古河”」にふさわしいデザインを広く全国から募集したところ、1,026点の作品の応募がありました(9月2日締切)。

10月12日に古河市市章候補選定委員会を開催し、5点までに選定されました。そして12月1

日から15日まで住民アンケートを実施し、下記の結果になりました。

アンケートの得票1位の作品を最優秀作品とし、古河市の市章として採用することに決定しました。今後、市旗や道路看板、封筒などに活用していきます。

たくさんのご応募、ご投票、ありがとうございました。

★市章アンケート結果 (アンケート投票総数 7,274 票)

	デザイン	得票	作成者	
A		1,233 票	大阪府東大阪市 駒井 瞭さん	優秀賞
B		604 票	東京都八王子市 磯貝明子さん	優秀賞
C		894 票	和歌山県田辺市 北野公一さん	優秀賞
D		2,596 票	青森県弘前市 工藤和久さん	最優秀賞
E		1,769 票	東京都江東区 立志哲洋さん	優秀賞
X	無効票	178 票		

【問】本庁企画政策課

## 筑西幹線道路

# 古河市内の概略ルート決定

県西・県央地域の交流促進のために整備が進められている筑西幹線道路。この道路について、北関東自動車道・(仮称)岩瀬I.Cから新4号国道までの区間は、既に概略ルートが決定していましたが、今回、国道4号から新4号国道間の約6.2kmの概略ルートが決定しました。  
 なお、詳細は決定しだい順次お知らせします。

概略ルート図(全体)



### 航空写真撮影に伴う標識板の設置

道路計画の基礎資料とするために航空機から写真を撮影します。写真を撮影する前に、空中から特定した位置を確認する目的で、白い標識板を公共用地および国家基準点等に設置します。設置した標識は、撮影終了後、速やかに撤収します。

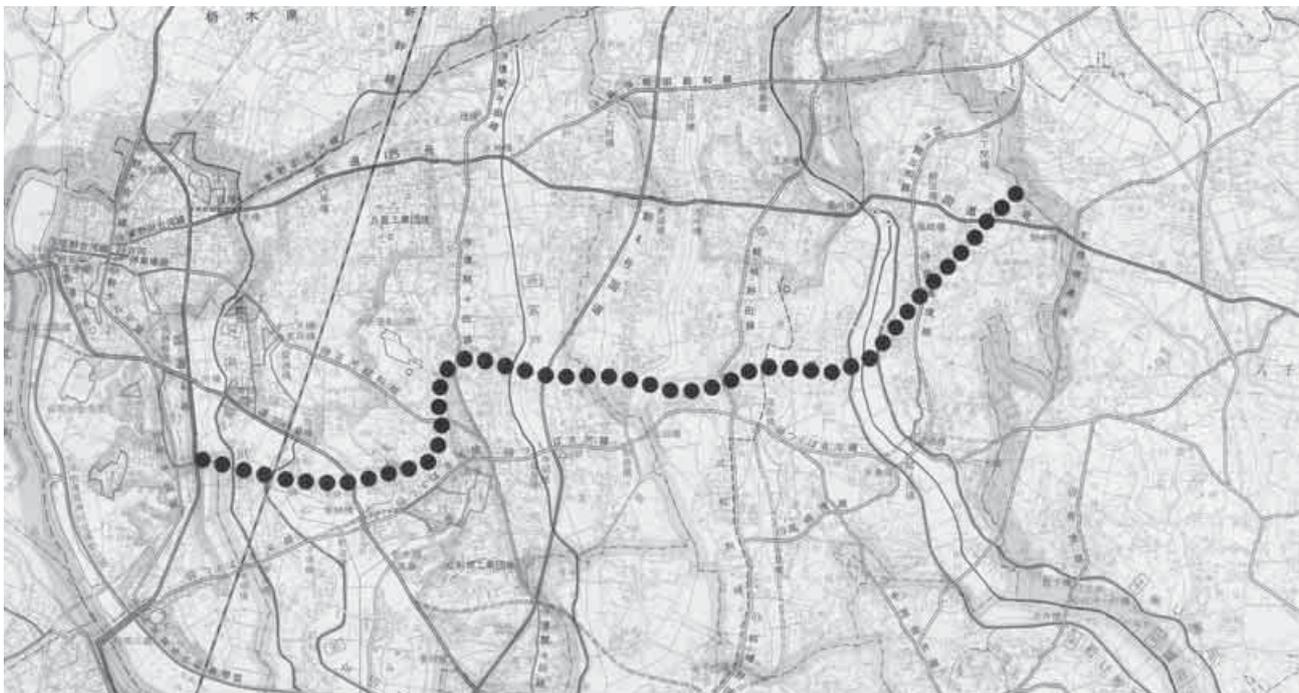
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

**期 間** 平成18年2月から3月まで

**位 置** 概略ルート図(古河市内)のとおり

**【問】**茨城県境土木事務所道路河川整備一課 ☎87-1953、市役所本庁都市整備課

概略ルート図(古河市内)



# 行政改革

古河市  
行政改革推進委員会  
開催



1月10日、市役所会議室で、第1回の行政改革推進委員会が開催されました。行政改革推進委員は、公募委員と学識経験者の計10人で構成され、任期は3年（今年度は年度途中のため、平成20年3月まで）です。委員会では互選により委員長には岩本清治さん、副委員長には日毛和夫さんが選ばれました。

## 行政改革推進委員会

行政改革推進委員会は、市長の求めに応じ、次の事項について調査・審議し、必要な意見・提言を述べてもらい、行政改革に反映させていきます。

- (1) 行政改革大綱の策定に関する  
こと。
- (2) 行政改革の進行管理に関する  
こと。
- (3) その他、委員会が必要と認める  
事項に関すること。

また、大綱に掲げられた事務がどのように進められているかの報告を市長より受け、市民の視点から意見・提言を述べてもらいます。

行政改革推進委員会委員  
(敬称略)

氏名(住所)	備考
斉藤 芳雄(東牛谷)	学識経験者
根森 健(常盤町)	学識経験者
渡辺美智子(東本町)	学識経験者
岩本 清治(小堤)	学識経験者
田中 衛八(東山田)	学識経験者
日毛 和夫(上辺見)	公募委員
荒川 正之(仁連)	公募委員
安藤 和子(小堤)	公募委員
塚原 信一(恩名)	公募委員
緑川美雅世(尾崎)	公募委員

### 行政改革大綱

行政内部の改革をどのように進めていくかの指針で、策定にあたっては、行政内部組織で市長を本部長とする『行政改革推進本部』と行政外部組織である『行政改革推進委員会』により審議・検討していきます。

### 法務大臣表彰

猿島地区保護司会会長の千野欣重さん(下大野)が、保護司活動において、地域社会のボランティアとして多年にわたり更生保護行政の推進に貢献したとして法務大臣表彰を受けました。

千野さんは、昭和57年に保護司として委嘱されて以来、現在まで23年間にわたり犯罪や非行をした人が地域の中で早期に更生できるよう助けるとともに、地域の犯罪や非行の予防を図る活動を続けてきました。この功績が認められ、この度の受賞となりました。



### 第32回交通安全母親全国大会で表彰

古河市交通安全母の会連合会が、永年にわたり母親の立場から交通事故防止活動を地域において積極的に推進したとして、第32回交通安全母親全国大会で、社団法人全国交通安全母の会連合会会長から表彰されました。



### 社会福祉で表彰

#### ○社会福祉法人全国社会福祉協議会会長表彰

30年以上にわたり民生委員児童委員として地域の福祉向上に貢献したとして表彰されました。

- ・猿山 京子さん(鳥喰)
- ・中野 孝子さん(古河)

#### ○全国民生委員児童委員連合会会長表彰

17年以上にわたり民生委員児童委員として地域の福祉向上に貢献し、全国永年勤続民生委員児童委員表彰を受賞しました。

- ・垂井千鶴子さん(駒羽根)

### 茨城県選抜チームで出場

昨年12月24日～27日、大阪府立体育館をメイン会場として行われたJOC(ジュニアオリンピックカップ)第19回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に、江原知樹さん(古河一中3年)、高橋正彰さん(古河一中3年)、田中亮祐さん(古河一中3年)、釜井涼子さん(古河一中3年)、中村彩羅さん(古河一中3年)、山田千尋さん(三和北中3年)が茨城県選抜選手として出場しました。

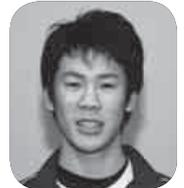
茨城県選抜チームは女子が予選リーグ敗退。男子はベスト8の成績を収めました。



江原 知樹さん



高橋 正彰さん



田中 亮祐さん



釜井 涼子さん



中村 彩羅さん



山田 千尋さん

## 防火の決意を新たに

1月8日、広域中央運動公園で古河市総和消防出初式が行われました。これは、古河市総和消防団と消防署員が出そろって、点検を行うものです。

点検の内容は、服装、消防手帳や消防ポンプ車の機械器具、部隊訓練など。全団員を2中隊に分けての部隊訓練では、副団長の合図に合わせて一糸乱れぬ動作を見せていました。また、三田幼稚園の幼年消防クラブが特別参加。防火の誓いをした後、かわいい踊りで式に華を添えていました。

火災などの災害から、市民の生命と財産を守る消防団。一年の始まりに、団員たちの士気が大いに高まりました。



▲赤、青、黄色…色とりどりの一斉放水



▲西南広域消防の消防はしご車に試乗体験。その高さにはびっくり



▲幼年消防クラブの防火の誓い。日ごろから火事に気を付けましょう



▲火災の一報を受ければ、いつでも駆けつける消防団

## 出動態勢は万全です

冬は火災の起こりやすい季節。万が一のときの緊急事態に備えて、古河市古河消防団と総和消防団では昨年12月、消防機械器具の置き場点検を実施しました。

市長や消防署員などが各分団の詰め所を巡回し点検したところ、各分団とも非常によく整備され、いつでも出動できる態勢でした。



▲消防ポンプ車を念入りにチェック



▲不測の事態に備えて、整備・点検は欠かせません

## 姉妹都市盟約を締結

1月21日、新「古河市」誕生記念式典に先立ち、広域中央運動公園総合体育館で姉妹都市盟約締結式が行われました。古河市と締結したのは福井県大野市、栃木県さくら市、山形県真室川町の3市町です。

大野市は、霊峰白山の支脈に囲まれた盆地にあり、九頭竜川が流れる自然に恵まれたまち。歴史的には、古河藩主土井家の初代当主である利勝の子、利房が越前大野藩の祖となっています。

さくら市は、昨年、旧喜連川町と旧氏家町が合併して誕生。荒川など4つの河川が南北に貫流する、水清く緑の多いまちです。歴史的には、五代古河公方足利義氏の娘、氏女と喜連川の国朝が結婚し、古河の足利家は喜連川へ移り喜連川氏を名乗るようになりました。

真室川町は、真室川音頭や梅で知られる農林業が盛んなまちです。今から380年ほど前、真室川の城主鮭延秀綱が、古河城主土井家に預かりの身となり、秀綱没後、大堤に鮭延寺が建てられました。



▲「北陸の小京都」といわれる歴史のまち、大野市と締結



▲温泉のまち、さくら市と締結



▲山形県最北部のまち、真室川町と締結

## 手作りの凧を大空へ

1月15日、中央公民館で古河市子ども会育成連合会総和地区による新春子ども会こま凧作り・凧あげ大会が開かれました。参加したのは約50組の親子。講師の杉山文男先生の指導を受けながら、手作り凧に挑戦しました。

3時間ほどで凧を完成させ、いよいよ凧あげ。広域中央運動公園に移動して、どの凧がうまくあがるか競い合いました。



▲うまく飛ぶかどうか、糸目の調整にかかっています



▲天まで届け！私の凧



佐々木信夫さん  
(松並町・72歳)

—観光ボランティア・ガイドとはどんな方ですか

古河地区を訪れる旅行者に観光を案内・紹介しているボランティアで、現在18人の会員がいます。駅西口にあるHana(まちなか再生市民広場内)に、正月三日を除いた毎日、会員1人が常駐していて、要請があれば無料で古河地区を案内します。

会員は研修会をしたり、水戸市、日立市、石岡市、土浦市のボランティアと年に一回交流会を開

いたりして、常に地域を知る努力や、新しい知識を習得するよう勉強しています。

—観光ボランティア・ガイドを始めたきっかけは

とにかく、古河という「まち」を活性化させたいという気持ちがありました。そして、「まち」を元気にするには観光が一番だと思ったんですよ。観光に来てくれた人は、リピーターになってくれることが期待されますからね。観光紹介だけでなく、温かい地域の魅力を紹介して、地域づくりに貢献していきたいと思っています。

歴史と伝統が息づくまち古河市。そんな古河市を紹介するため、古河地区では観光ボランティア・ガイド協会の皆さんが活躍しています。会長の佐々木信夫さんにお話を伺いました。

## ブックレビュー —Book Review—

鷹見久太郎が生んだ絵本の王様  
『コドモノクニ』

「デモクラシー」「ロマン」等の言葉で形容される大正時代は、ひろく自由主義が謳歌され、また児童文化が興隆・発展した時代でもありました。大正7年創刊の『赤い鳥』に続き、次々と子どものための雑誌が刊行されるなか、大正11年、「絵本の王様」と称される画期的な絵雑誌が登場します。以後に発行される幼児向けの雑誌の典型となったその雑誌の名は『コドモノクニ』。

従来の諸誌に比べ大型で厚手のマット紙にカラーオフセット印刷を導入、枠のない見開き画面いっぱい印刷された絵。当時の子どもの本としてはたいそう豪華で洒

落しており、まさに「王様」と呼ぶにふさわしい際だった存在でした。またこの雑誌からは、今なお歌い継がれる「兎のダンス」「雨降りお月さん」「アメフリ」などの童謡が生まれています。

ところで、この『コドモノクニ』の生みの親が古河生まれの人物であったことをご存じですか？ 鷹見久太郎がその人です。

明治8年、古河町長谷(現鷹見泉石記念館)に生まれた久太郎は文学を志して東京専門学校(現早



▲『コドモノクニ』『コドモノテンチ』と創刊者・鷹見久太郎

稲田大学)に入学、野口雨情や窪田空穂らと交際し、明治38年には国木田独歩が編集長をしていた近事画報社でジャーナリストとしての道を歩み始めます。その後、独歩から『婦人画報』等の発行を受け継ぎ東京社を設立。そして大正11年、編集主任に和田古江、編集顧問に倉橋惣三、童謡顧問に北原白秋、野口雨情、作曲顧問に中山晋平、絵画主任に岡本帰一、武井武雄といった当代一流の諸氏を迎え、『コドモノクニ』を創刊したのでした。

現在、古河文学館では企画展「鷹見久太郎と『コドモノクニ』」を開催中です。古河ゆかりの人物が生んだ「絵本の王様」の世界をぜひ覗いてみてください。

(企画展は3月12日まで)

(古河文学館 秋澤正之)

### —今後の抱負は

案内した人たちが、渡良瀬遊水池から見渡す美しい景色や文化財の豊富さに感動してくれると、とてもうれしいんですよ。

古河市は、古くは万葉集にも登場して、足利氏とのつながりも深い。歴史的には、政治文化で重要な位置を占めてきたんですね。利根川・渡良瀬川に面した豊かな自然と、城下町・宿場町の面影が残っています。そんな古河市の良さを、もっともっとたくさんの人に知ってもらいたいですね。

ありがとうございました。ますますのご活躍をお祈りします。



▲3月には桃まつりも開催されます。たくさんの人に来てもらいたいですね

古河市を訪れた人たちに喜んでもらい、また来たいと感じてほしいという佐々木さん。市民みんなが佐々木さんのように、「おもてなしの心」を大切にしていきたいですね。

## 図書館

### おすすめの図書

#### ◇一般書

##### ・ピエトロのパスタ

ピエトロ 著

大人気パスタ専門店のベストスパゲティ&サラダなど、全107レシピを初公開。人気のパスタから、アンティパスト、ドリア、リゾットのレシピも紹介する。

出版社 パルコ

請求記号 596 ピ

所蔵館 小堤公民館(つつみ館)

##### ・筆筒のなか

長野まゆみ 著

親戚の家から引きとってきた古い紅い筆筒。この筆筒、なんだか不思議な筆筒だ。抽斗を開けると……。長野まゆみの新境地が、いまここに拓かれる。月刊誌『群像』掲載を単行本化。

出版社 講談社

請求記号 F ナ

所蔵館 生涯学習センター総和(とねミドリ館)



#### ◇児童書

##### ・100円ショップ大図鑑

PHP研究所 編

私たちのくらしと切っても切れない100円ショップ。100円ショップの人気の秘密、安さのしくみ、店長さんや店員さんの仕事、商品がお店にとどくまでの流

れなどにせまります。巻末には用語解説を収録。

出版社 PHP研究所

請求記号 K673

所蔵館 ユーセンター総和

##### ・あひるのガガーリン

二宮由紀子 文

いちかわなつこ 絵

遊園地のあひるいけに住むガガーリン。おしりの巻き毛がかっこいいでしょ？ があががあ。ゆかいなアヒルのちょっとうれしい毎日を描いた、幼児への読み聞かせにぴったりの短編を3本収録。絵本雑誌『ほっぺ』掲載に加筆し単行本化。

出版社 学研

請求記号 E ア

所蔵館 中央公民館



## 古河の文化財

### 縄文時代の祭祀遺物

今から約1万2,000～2,400年前ごろまでの時代を縄文時代といいます。縄文時代の遺跡は、河川や沼、谷津に面した台地縁辺部に多く位置しており、現在市内全域で195遺跡を確認しています。縄文人たちのものづくりは、土器から始まり、中期以降になると日用品ではない、いわば呪術的な道具である土偶や土版、仮面、石棒、石剣や耳飾り、首飾りなどのアクセサリーの類まで広がっていきました。

釈迦地区を通る県道つくば古河線の工事に先立って発掘調査が行われた釈迦才仏遺跡でも、縄文時代後期から晩期の竪穴住居跡19軒が確認されるとともに、祭祀(信仰に関わる祭り)や呪術に使用されたと考えられる道具が数多く出土しています。後期の住居跡から出土した土製仮面は全国的にも出土例が少なく、県内でも他には古河第一中学校が所蔵

するものがあるだけです。眼孔・耳孔が穿たれた人面大のもので、直接顔に装着して使われたのかもしれませんが。また、透かし彫りの施された土製の耳飾りや子孫繁栄を祈ったと考えられている土偶や石棒も多数発見されています。

これら土偶や石棒は破損した状態で出土することが多いのですが、こわして捨てることによって、新たな命の誕生を願う祭祀を行っていたと考えられています。



▲釈迦才仏遺跡出土の土製仮面

## コミュニティ通信

### 伝統を受け継いで「和気あいあい」

### 釈迦行政区

「昔、この地にあった沼の岸にお釈迦様の像が流れ着いたと言う伝説が地名の由来と聞いています」と話してくれた区長の関口徹さん。釈迦行政区は7町内会350戸あり、行政区の決め事は、話し合って納得で進めることが原則だそうです。

伝統行事として「子ども御輿」と「山車お囃子」で町内会を巡り、特別のご馳走を食べ、世間話に華を咲かせる「夏祭り」があります。また、樽組み立て、飾りつけをし、伝統のお囃子に合わせて皆で踊る納涼盆踊りも、大人も子どもも楽しめる夏の風物です。

秋には行政区内の70歳以上の人を招待して集落センターで行われる「招待敬老会」。手料理や演芸でゆっくりくつろいでいただくこの会は、お年寄りにとっても喜ばれています。



▲敬老会にて。伝統を守るお囃子会

「この会のメインイベントが総和ばやしの生演奏です。長らく途絶えていた『釈迦お囃子会』が、先輩たちの努力で26年前に復活し、老いも若きも一緒になって演奏する姿は仲の良さを象徴するものです」と話す区長さん。

正月には行政区女性部の新年会。アイデアいっぱいのおし物を町内会ごとに披露します。新年早々、町内会ごとの準備や練習のマル秘ニュースが街中を駆け巡り、当日の会場は笑顔と拍手が絶えないそうです。

「釈迦行政区は、行政区行事や民俗芸能活動を通して地域コミュニティづくりをしています。これも諸先輩からの伝承であり、この地に『一致協力』のところが根付いているからでしょう」と区長さんは話してくれました。





## パークライフ

### 桜の名所 三和ふるさとの森

「世の中に たえてさくらのなかりせば 春の心はのどけからまし」

この世に桜がなければ、春の心はのどかなのにと「古今和歌集」に詠んだのは、在原業平。桜がいつ咲くかとやきもきするくらいなら、いっそ桜などなかったら……そんな風に考えたのでしょうか。桜の開花を今か今かと待ち望む気持ちは、今も昔も変わらないようですね。

地域住民の憩いの場、ふれあいの場として親しまれている「三和ふるさとの森」は、四季折々に豊かな景観が楽しめるよう、さまざまな植物が植えられています。三和地区有



▲桜の季節には、ぜひお越しください

数の桜の名所でもあります。芝生広場やひょうたん池の周りに植えられている約50本の桜が、静かに春の訪れを待っています。

今年も新緑をバックに咲く桜に囲まれて、遊具で遊ぶ親子連れや「花の宴」を楽しむ団体などにぎわうことでしょう。小鳥たちのさえずに耳を傾けながら、満開の桜の木の下で、のんびりと春の日を過ごしてみたいかがですか？

「春きぬと 人は言へどもうぐひすの 鳴かぬかぎりにはあらじとぞ思ふ」…「古今和歌集」壬生忠岑

【問】本庁都市整備課

## 趣味ゆうゆう

### 紙とカッターで作る美の世界

「黒い紙とカッターがあれば、きり絵は挑戦できます」とは講師の和田賢次さんの言葉。

さくら館（下大野公民館）が主催するきり絵教室は1年間の長期講座で、3年目を迎えます。講座生は13人。2年、3年と学んでいる人や1年目の人も、自分のペースで作品作りに励んでいます。

きり絵を始めようと思ったきっかけを聞いてみると「たまたま旅先で見たきり絵に惹かれてしまって……」「展覧会で魅せられて……」「友達に誘われて……」と理由はそれぞれです。

実際やってみてどうですかと聞くと「とても細かな作業なので大変ですが、出来上がったときの感動は格別なものがあります」「毎日ちょっとずつですが、ひとつのことに集中できる時間が持てるのがうれしい」「きり絵を始めてから日常の風景が違って見えるよう

### きり絵教室を訪ねて

になりました」など皆さんどっぴりときり絵の魅力にはまっている様子。

講座生の中には、習い始めて半年で全国規模のきり絵展に出品された人も。また、小さなきり絵を作っては、はがきに貼ってかわいいお孫さんにプレゼントする人も。それぞれ自分なりのきり絵の楽しみ方を発見してようでした。



▲刃先に神経を集中させて……





1年で最大の行事であるクリスマスの4週間前からオープンするドイツのクリスマスマーケット。午後4時頃から暗くなる冬の街は、このマーケットの出店の焼き栗やアーモンドの甘い匂いで溢れ、美しいイルミネーションに飾られとても温かな雰囲気包まれます。



▲ライン河沿いのプロムナード。水面に故郷の渡良瀬を感じて

故郷渡良瀬川の古河からドイツ南部のフライブルグ市を経て、ライン河の街デュッセルドルフ近郊の日系会社で働き始めたのが19年前の12月。「年月を重ねるにつれ故郷の思い出が深まる」と言うのは本当なんだと実感する今日この頃です。

四季折々の思い出。初春の桃祭り。あの頃はうっとうしいと思った頼政神社の油蟬あぶらゼミが今は妙に懐かしく思う夏。渡良瀬川の土手にススキがさわさわと風に揺れる秋。そして、実家から近い三国橋の土手に立つとお天気の良い冬の早朝、右手には日光連山、左手には富士山を眺められるという“贅沢”ぜいたくにずっと長い間気が付かずに過ごしていた自分を発見しました。

この故郷にドイツ人の主人を紹介できたのが1994年の秋でした。古河駅から見学コースを取り、第一小学校、文学館へと案内、そして日本史に登場する古河藩家老鷹見泉石の記念館を見学した際、管理人さんから家屋建築の説明を受け、とても感心していたのを今でもよく覚えています。

最後になりますが、古河市と総和町と三和町とが合併し、今までの隣町というよそよそしい感覚から、ハーモナイズされた新古河市として発展することを祈念してやみません。

「和と融合を目指す古河市に幸あれ！」



ドイツ在住  
栗原・レーナルト エミさん



## 総和女子ジュニア サッカースクール

6月から開催されるワールドカップで、今年も高まりそうなサッカー熱。サッカーといえば男子のサッカーが人気ですが、最近では女子サッカーも人気が出てきています。

「私もサッカーをやりたい」というサッカー好きの女の子が集まっているのが、総和女子ジュニアサッカースクール。このスクールは総和サッカー協会が主催して

いるもので、女の子にもサッカーの楽しさを知ってもらいたいと、昨年の9月から開催しています。メンバーは小学2年生から中学2年生までの子どもたち17人。毎週土曜日の午前中、主に小堤スポーツ広場で活動しています。練習内容はドリブルやパス、トラップ(止め方)など基本的なもの。「できなかったことができるようになると楽しい」とメンバーは基本技術をどんどん習得しています。また「一番楽しいのは練習の最後にやるゲームです」とのこと。男の子と一緒にだと気後れしてしまう子も、ここでは積極的にプレーできます。

サッカーに興味がある女の子は一緒にプレーしてみませんか。また、対戦チームも募集しています。問合せは☎92-0061(河内)。

## 健康情報局

### 子どもの肥満予防

肥満傾向の子どもが年々増加しています。1歳までの赤ちゃんはちょっと太り気味でも心配ありませんが、問題なのは2歳を過ぎからの肥満。最近では小児の生活習慣病も注目され、「肥満の子どもは肥満のまま大人になる割合が高く、将来の生活習慣病につながる」という専門家からの報告もあります。次のことに注意し、子どもの肥満を予防しましょう。

#### ○食習慣

毎日の食事は、緑黄色野菜や魚などを多くして栄養バランスの良い献立にし、1日3食決まった時間に。また、おやつは欲しがらだけ与えるのは禁物です。時間と量をきちんと決めて、糖分や脂肪分の多いものは避けましょう。

#### ○運動習慣

運動不足にならないようにテレビやゲームの時間をきちんと決め、なるべく体を使った遊びや外で運動をするよう心掛けたいですね。また、一緒に散歩をしたり、掃除をしたりして親子で体を動かすのも効果的です。

#### ○生活のリズム

夜型の生活は、睡眠不足とともに肥満を招く原因になります。遅くても9時までには寝て、朝6時には起きるような習慣を身に付けさせましょう。

親の生活習慣が子どもに大きく影響しますので、家族ぐるみでより健康的な生活が送れるといいですね。(健康推進課)

## お詫びと訂正

広報1月号11ページ「お詫びと訂正」の中で、茨城県表彰・特別功労賞の粕谷榮市様のお名前に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げます。訂正させていただきます。

## 寄付

東京電力株式会社下館支社が、子どもたちの安全確保、夜間交通の安全対策、防犯対策として公衆街路灯器具一式20基(20万円相当)を寄付。

## 人口と世帯

(12月末日現在 住民基本台帳から)	
総人口	146,897人 (-30)
男	73,644人
女	73,253人
世帯数	51,527世帯 (+12)
( )内は前月比	

## 今月の料理

### 白菜のアサリ蒸し



エネルギー＝39kcal  
たんぱく質＝3.2g  
脂 質＝0.3g  
塩 分＝0.6g

#### 材料(5人分)

白菜1kg、水2.5カップ、アサリ300g、しょうが1かけ、酒大さじ5、塩・こしょう少量

#### 作り方

- ①白菜はざく切りにする。しょうがは千切りにする。
- ②鍋に白菜と水を入れて火にかけ、煮立ったらふたをして弱火で約5分煮る。
- ③アサリとしょうが、酒を加え、再びふたをして4～5分、アサリの殻が開くまで煮てこしょうをふる。
- ④好みで塩を加えて味を調える。

(食生活改善推進会)



## アイドル登場



### 観察力に感心

小久保陽生くん (1歳9カ月・松並)

陽生はまだまだおっぱいが大好きな甘えん坊。日に日にできることが増えていき、毎日が発見の連続です。陽生は電車が大好きで、毎日線路の近くまで電車を見に行きます。電車が来ると「ガタンガタン」「ゴー」などと言いながら体を揺らし、目を輝かせています。



先日、陽生の大好きな電車に乗って水族館に行きました。電車からの景色に大興奮の陽生。車内でも相変わらず体を揺らしながら「ガタンガタン」と言っていました。魚も大好きな陽生は水族館で初めて見る色鮮やかな魚にも大興奮！小さな魚を指さして「ぱくぱく」。大きな魚を指さして「ガオオ～」。ペンギンを指さして「あ～」などと真似していました。猫や犬の真似も上手な陽生ですが、水族館での観察力には感心させられた一日でした。

(父:大輔さん・母:まどかさん)

## 博物館 ニュース

### 十二回忌も阿蘭陀風

当館展示室Iの陳列から……。

現在、列品している資料に「己巳庚午会席備忘」という明治2・3年の記録があります。折々の茶事の備忘録で、記録者は鷹見忠正。茶会に用いた風炉釜・炭取・香合・花入・水差・茶入・茶杓・茶碗・建水などの道具、棚や床の飾りとなった品々、そして懐石料理の献立で、そのときの茶事を企画した亭主の人となりや、茶会そのものの再現を可能とする記録といつても過言ではありません。

さて、この会記には、明治3年7月19日に開かれた「先考十三回御忌取越追善茶」という茶事が含まれています。今ふうにいえば、「亡父十三回忌を追善する茶会」ということになりましょうか。おそらく亡父を偲んで取り合わせたのでしょう。「水差に「阿蘭陀」すなわち、デルフト窯に代表されるオランダの焼物が使われており、前後の記録には、菓子として「かすてら巻」を出していることも確認できます。

ところで、亭主の忠正が亡父とは、安



泉石収集の切子瓶とコップ (国指定重要文化財)

政5年(1858)7月20日に亡くなった鷹見泉石(1785～1858)のこと。屋上屋を重ねるようですが、泉石が、古河藩家老にして、日本最初のオランダ地図を出版した人であること、そして、渡辺崋山描くその肖像画が国宝としてきわめて著名であることは申し上げるまでもありません。

江戸を代表する蘭学者たちの宴「新元会(オランダ正月)」にも出席していた泉石は、赤葡萄酒を片手に、たびたびオランダ料理に舌鼓を打ち、さまざまなオランダ食材やそれを演出するテーブルウェアを集めています。亡き父を納得させるために、「阿蘭陀水差し」の取り合わせや「かすてら巻」は、この追善茶事に欠かせぬものであったのでしょう。

(テーマ展「鷹見泉石の交流・オランダ正月」は、4月27日まで)

古河歴史博物館学芸員 永用 俊彦

平成18年2月1日発行

●発行所/〒306-0291 茨城県古河市下大野2248  
●編集/古河市広報広聴課

●ホームページ/<http://www.city.furukawa.lg.jp/>

●ホームページ/<http://www.city.furukawa.lg.jp/>